

# 道内初！石狩川滝川地区水害タイムライン試行版が完成！！

全国でも最大規模の数となる36の関係機関と合同で検討してきた「石狩川滝川地区水害タイムライン」について、道内で初めて試行版が完成したため完成報告、協定式及びシンポジウムを行いました。  
また、当日は、昭和56年8月の大洪水から35年目に当たることから、浸水被害等に関する講演とタイムラインをどのように活かすかをテーマとしたパネルディスカッションを行いました。

- 開催日時 平成28年8月3日（水） 13:30 ~ 17:00
- 実施場所 たきかわ文化センター（滝川市）
- 参加機関 滝川市等36機関

## 開会の様子

完成報告会には各関係機関の代表者・担当者に加えて、アドバイザー、オブザーバー、一般傍聴者など総勢約130名が参加しました。札幌開発建設部の難波江部長より開会の挨拶がありました。  
続いて、札幌管区気象台の林台長より「タイムラインが地域の方々の生命を守るために効果的に活用されること期待する。」といった挨拶がありました。



開会の辞 札幌開発建設部 難波江 部長

## 第一部 タイムライン試行版の完成報告及び協定式

札幌開発建設部の秋山課長、気象台の西潟課長より、タイムライン試行用完成版の概要と運用について、それぞれ説明がありました。

参加機関を代表し、5名の方々に滝川地区水害タイムライン試行版の運用にあたり、抱負を発表してもらいました。5名の方はそれぞれ、「地区の防災会でタイムライン検討委員会を立ち上げ、町内会からタイムラインの有用性を広めていきたい」、「今後、色々なところで自分が起こす行動のトリガーが何かを考えながら行動しなければいけない」、「使う度に精度が上がっていくと良いと思う」といった今後の取り組みやタイムラインへの思いを発表しました。



札幌管区気象台  
林 台長による挨拶



試行用完成版の概要説明  
秋山 課長



試行用完成版の運用説明  
西潟 課長



滝川市  
防災危機対策室  
青山 係長



NTT東日本  
岩見沢営業支店  
岡崎 課長



滝川消防署  
中井 所長



滝川道路事務所  
柏谷 副所長



滝川市幸町  
第4区地区防災会  
東藤 会長

参加機関代表者による抱負

## 試行用完成版の引き渡しと協定式

タイムライン検討会の松尾座長より「あくまでも試行版であり、タイムラインはまず使って改善していくことが大切」といった挨拶があり、滝川市長へタイムライン試行用完成版の引き渡しを行いました。協定式では、滝川市長・札幌開発建設部長・札幌管区気象台長で協定書を交わしました。

最後に滝川市長より「滝川市としては、ソフト面の整備がしっかりとしたものがあったことが不安な面であったが、タイムラインを作成したことで、多くの被害を最小限にとどめることができる。実用面において如何に熟度を高めていくかを考えなければならない。」といった閉会の挨拶があり、第一部は終了となりました。



松尾 座長の挨拶



座長から市長へタイムライン  
試行用完成版の引き渡し



協定式の様子



閉会の辞  
滝川市 前田市長

## 第二部 昭和56年8月洪水とタイムラインに関するシンポジウム

第二部は、志田気象予報士による昭和56年8月水害の気象・降雨についての講演で幕を開けました。さらに、環境防災研究機構北海道の黒木専務理事による昭和56年水害の被害と対策について講演があり、参加者は熱心に耳を傾けました。

続いて、NHK解説主幹の山崎氏をコーディネーターに迎え、アドバイザーとして松尾座長、パネリストとして前田市長・難波江部長・林台長・そして札幌テレビ放送の取締役編成局長である萬谷氏とともに、「石狩川滝川地区水害タイムラインをどのように活かすか」をテーマにパネルディスカッションを行い、「専門用語を使わずに誰でも分かる言葉での情報発信をお願いしたい」や、「大規模災害をもたらす気象条件は毎回違う」、「東日本大震災は、事前に準備してなかったことは何も出来なかった」等が話し合われました。



志田 気象予報士  
による講演



黒木 専務理事  
による講演



パネルディスカッションの様子